校区の史跡・文化財その他一覧

令和6年6月調査時点

番号	名称	概略
1	孔子公園	町のシンボル公園で有朋の里・孔子公園と呼ばれる。偉大な思想家「孔子」生誕の地名に由来し、論語の理念を町づくりに活かしている。
2	花房飛行場ミュージアム	孔子公園大門の横にあり、菊池飛行場を主に戦争体験者の話や貴重な資料を展示紹介している。
3	熊本電鉄軌道敷跡	菊池電車路線の内、御代志～菊池間は昭和61年に惜しまれながら廃止された。その軌道敷跡は桜並木の緑道(歩道)になっている。
4	泗水社製糸工場跡	明治43年に創設され、県北の製糸工業の発展に大きく貢献した。多量の繭から糸を繰り出し、蚕霊塔が敷地内に建立されている。
5	相生の棕と榎	樹齢は200年を越え双方の幹が密着して一本の樹木のように見える。平成16年の台風で榎が大きく折損し再生は絶望的とされている。
6	福本聖母八幡宮	寺社を修復した記録となる棟札が残されている。八幡宮の右手には早鷹天神と樹齢700年ともいわれる大楠がそびえ立っている。
7	一字一石塔	助右衛門が亡くなった両親の冥福と自身の武運長久を祈念して、小石に経文を一石に一字ずつ書写して埋納し、上に石碑を建てた。
8	福本六地藏尊	鎌倉時代以後、道路や旅人を守る道祖信仰で村の境や辻に建てられた。六面に地藏がある。当時の交通の要地であったことが分かる。
9	福本阿弥陀堂	阿弥陀堂の両脇に石造座像が安置されている。地元の人からは、向かって左側を「首無さん」、右側を「飯炊きさん」と呼ばれている。
10	熊野権現大神宮	泗水町営グラウンドの北側下にある竹藪の中にひっそりと建立されている。地元の人により手入れがされている。
11	合志氏の墓碑群	合志鎮増は戦国悲運の武将である。入り口より順に①板碑②供養塔③墓碑④五輪塔の4つの碑が建てられている。
12	警神 増田敬太郎の墓	明治28年に佐賀県巡查を拝命し、高串の地において悪疫防除の任務に献身的にあたり、自らも感染して27年の生涯をとじた。
13	若宮神社	寿永2年阿蘇大明神のお告げで九の宮若彦明神を富に勧請された。5体のご神体が祀られ、拝殿の天井には絵馬も奉納されている。
14	いちいがし	地元では古くから「天神さん」と呼び親しまれている。幹回りは7.5mになり、瘤状に連なった根張りの様子は巨木の貫禄を見せている。
15	北山雪山の墓	北山雪山は江戸初期の陽明学者であり有名な書家である。村吉の有志が雪山の学風と書道に私淑して分骨を受けてこの地に納めた。
16	村吉日吉神社	寛和元年に藤原実重が神霊の加護が顕著な日吉山上社を勧請して建てられたものである。階段を上り左手には猿像も設置してある。
17	花房飛行場跡	昭和15年に完成し陸軍飛行場のほかに、通信教育隊や陸軍病院、気象観測所が併設された。高架給水塔は奇跡的に被害を逃れ、戦後も地域の生活を支え続け復興に大きく貢献した。
18	慰霊塔	この地に眠る諸々の霊を慰め空襲によって散華した尊い戦死者の英霊を永遠に慰めるため、昭和32年富の原保育園横に建立された。
19	養生園伝承館	龍門ダムに埋没した民家の解体木材を再利用して建てられており、食と農を基本にした「いのちミュージアム」となっている。
20	久米八幡宮の石鎚	久米八幡宮の境内地に、石鎚という総延長40mの石群がある。西南戦争の陣地跡や屋敷の石塁、害獣よけなど諸説ある。
21	安国寺釈迦堂	本尊の釈迦像は永正12年(1515)に制作されたとされる。また古くから涅槃図も伝わり、毎年2月15日に涅槃式が行われている。
22	菊池政隆公墓	政隆は、菊池氏20代為邦の弟為安の孫となる。久米原の戦いで安国寺に陣を構えていたが敗れ、自刃して享年19歳の若さで果てた。
23	三万田東原遺跡	九州を代表する縄文時代の遺跡である。坂本経堯氏らの調査で、たくさん出土した土器や土偶が出土し、大きなムラが存在していたとされる。
24	久米若宮古墳	5世紀後半築造の円墳と推定されている。若宮神社の境内には「けんぼなし」という樹齢300年の樹木があり天然記念物となっている。
25	鼻突地藏	自然石の中央をくり抜いて仏像の石板がはめてある。目を閉じて像の鼻の部分に指先が当たると良縁に恵まれると伝えられている。
26	泗水公民館	泗水公民館内に郷土資料展示コーナーがある。古代の菊池や出土した土器や土偶、警神増田敬太郎氏、考古学者の坂本経堯氏、福本にあったキリシタン墓碑に関する資料も展示してある。